

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公開番号】特開2009-74002(P2009-74002A)

【公開日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-014

【出願番号】特願2007-246301(P2007-246301)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

H 0 1 L 21/02 (2006.01)

H 0 1 L 27/12 (2006.01)

C 0 9 J 5/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/04 (2006.01)

B 3 2 B 7/10 (2006.01)

B 3 2 B 9/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

H 0 1 L 21/02 B

H 0 1 L 27/12 B

C 0 9 J 5/00

C 0 9 J 11/04

B 3 2 B 7/10

B 3 2 B 9/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月13日(2010.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2つの被着体のそれぞれに接着して、当該2つの被着体同士を接合するために用いられ、

基板と、

該基板の一方および他方の面側にそれぞれ設けられ、金属原子と、該金属原子と結合する酸素原子と、前記金属原子および前記酸素原子の少なくとも一方に結合する脱離基とを含む第1および第2の接合膜とを有し、

前記第1および第2の接合膜の少なくとも一部の領域にエネルギーを付与し、前記第1および第2の接合膜の表面付近に存在する前記脱離基が、前記金属原子および前記酸素原子の少なくとも一方から脱離することにより、前記第1および第2の接合膜の表面の前記領域に、前記2つの被着体との接着性が発現するものであることを特徴とする接着シート。

【請求項 2】

前記脱離基は、前記第1および第2の接合膜の表面付近に偏在している請求項1に記載の接着シート。

【請求項 3】

2つの被着体のそれぞれに接着して、当該2つの被着体同士を接合するために用いられ

、

基板と、

該基板の一方および他方の面側に設けられ、金属原子と、有機成分で構成される脱離基とを含む接合膜とを有し、

前記第 1 および第 2 の接合膜の少なくとも一部の領域にエネルギーを付与し、前記第 1 および第 2 の接合膜の表面付近に存在する前記脱離基が当該接合膜から脱離することにより、前記第 1 および第 2 の接合膜の表面の前記領域に、前記 2 つの被着体との接着性が発現するものであることを特徴とする接着シート。

【請求項 4】

前記基板は、可撓性を有する請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の接着シート。

【請求項 5】

前記基板は、シート状をなしている請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の接着シート。

【請求項 6】

前記基板は、パターンニングされている請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の接着シート

。

【請求項 7】

前記基板は、所定の機能を有する機能性基板である請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の接着シート。

【請求項 8】

前記機能性基板は、配線、電極、端子、回路、半導体回路、電波の送受信部、光学素子、表示体および機能性フィルムのうちの少なくとも 1 つの機能を有する請求項 7 に記載の接着シート。

【請求項 9】

請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の接着シートと、前記 2 つの被着体とを用意する工程と、

該接着シートが有する前記第 1 および第 2 の接合膜の少なくとも一部の領域にエネルギーを付与する工程と、

前記 2 つの被着体同士の間前記接着シートが介在するようにして、前記第 1 の接合膜と一方の被着体と、前記第 2 の接合膜と他方の被着体とを、それぞれ、密着させることにより、前記接着シートと前記 2 つの被着体とを貼り合わせ、接合体を得る工程とを有することを特徴とする接合方法。

【請求項 10】

請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の接着シートと、前記 2 つの被着体とを用意する工程と、

前記 2 つの被着体同士の間前記接着シートが介在するようにして、前記第 1 の接合膜と一方の被着体と、前記第 2 の接合膜と他方の被着体とを、それぞれ、密着させることにより、前記接着シートと前記 2 つの被着体とを貼り合わせ、積層体を得る工程と、

該積層体中の前記第 1 および第 2 の接合膜の少なくとも一部の領域にエネルギーを付与することにより、前記接着シートと前記 2 つの被着体とを接合し、接合体を得る工程とを有することを特徴とする接合方法。

【請求項 11】

請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の接着シートと、2 つの被着体とを有し、

前記 2 つの被着体を、前記接着シートを介して接合してなることを特徴とする接合体。